

事業所名		音楽療法型 多機能事業所 奏かなで						公表日	2025年 2月 21日
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	5		・活動に個々に参加できるように外の活動を取り入れる等などして対応している。 ・場面に応じて事務所や静養室も活用する事で狭いながらにスペースの確保を行っている。	・職員室を利用せざるをえない場合がある		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2		・安全に活動を進められるように他の職員さんと連携して動きを把握しながら、自分も動くようとしている。	・個々の子どもさん一人一人への対応を重視していいことだと思うが、そのため目が届かない事が出てくると思う		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	3	・玄関や事務所入り口など段差があるため注意して支援している ・危険なところがあれば連携をとる。	細かな段差の対応が今後は必要な場面もあるかと思う。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11						
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	1	・毎日ミーティングを行い、話し合っている ・問題があったときは、どのようにすればよかったですかを話し合っている。気づいたことは伝えて共有するようにしている。 ・日常の支援においても児童・職員共に目標を設定し振り返りを行なっている。	休みの職員にも周知できるよう、日誌を活用していく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	2	・第三者委員会の設置が出来ていない。	・第三者委員会を設置する。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1		・月に1回内部研修を行っている ・外部研修や内部研修を行っている。 ・zoom等を利用して学びの機会をもらっている。 ・事業所内の研修だけでなく、外部研修も職員に周知し参加を促している。また、研修費の助成も実施。			
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11						
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	2		・職員間で毎日ミーティングで話し合いをしている			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11						
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	1	・無理なく指導、援助ができるように個々を把握できるように利用している。	アセスメントシートの活用については研修を実施する。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11						

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	・それぞれ職員が意見を出し合い、月ごとに考えている ・勤務に就いたときに目標と流れを伝えてもらっている。 ・活動内容は職員同士で出し合い目標設定も行えている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	2	・プログラムの立案を考える事はないけれど、遊びの紹介をさせてもらっている。 ・Instagramなどを活用し、活動の固定化が無いように対応している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	2	・事業所としては、よくされているとおもう。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	・午前中に職員でミーティングを行っており、前日の様子や、引き継ぎ、本日の活動は話している。 ・常勤ではないため、把握が難しいので、当日の動きは必ず把握するようにしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3	・業務終了時間が早い職員がいるため、何かある場合は連絡をするようにしている。 ・勤務時間があり、話し合いには参加できないが、振り返りは伝えるようにしている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2	・記録はその日に終わらせ、次の日のミーティングで、話をしている ・勤務の関係で、記録をすることはないが、他の職員さんは、細やかにされていると思う	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	・わかりません	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	3	・他の職員さんがされていることをサポートさせてもらうように心がけている。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	・事業所としては、されている。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	・トラブルなどあった場合はすぐに相談連絡を行っている ・細やかに連携をとられている。 ・学校訪問も定期的に行なっている	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	1	・勤務状況で、関わっていない職員もいるため情報共有をしっかり行う。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	7		・まだ移行した利用者がいない ・学校を卒業した児童がまだいない
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	1	・職員にも報告がある。 児発連に参加し、助言などを貰える関係は出来ているが参加が管理者や児童発達支援管理責任者鑑となっている為、今後は、他の職員でも参加できる機会を持ちたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	5		・近隣を巻き込んだイベントを実施
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	4		協議会への参加は、管理者や児童発達支援管理責任者のみ。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1		・送迎時に保護者とお話しができるようにしている ・送迎時などに説明をするようにしている。また、今年度よりLINEも開設し情報が共有しやすい状態にしている。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	1	・保護者会などで実施	保護者会にて実施している。今後は、研修などの情報提供も行っていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2			管理者から契約時に行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	3		・事業所としては、されているし報告もある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	1		・年に2回保護者会、懇談を行っている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		1	・対応されており、他の職員にも報告がある。	苦情のマニュアルについて再度研修を行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		1	・Instagramを通して、活動内容などを報告できるようにしている。 ・毎月利用予定や活動プログラムを配布し、行事等ある場合には、また案内を配布している ・月間の活動予定表を配布したり、必要に応じてお便りをだしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1		・Instagramなども名前が載らないよう注意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1		・ハロウィンイベントなど地域の人を巻き込んだ行事をしている ・地域のイベントに参加させてもらっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	1		マニュアル研修を実施する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。					
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3		・指示書を提出しているアレルギー対応の子どもはないけれど、卵などについては対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。					
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。					
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1		・報告も受けていて、子どもの安全には気をつけている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			・内部研修を年に1回開催している ・職員が、共有して細かいところにも気づけるようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	2			